



小栗 恒雄

◆市職員の不祥事撲滅について

問なぜ元職員による長期に渡り多数回の着服行為が繰り返されたのか、背景と真相は究明できているのか。

答横領事件は22年当初から23年12月までに、六〇三万円を着服したもので、昨年12月12日に事件が発覚し、同15日には元職員を懲戒免職処分としております。2月8日に多治見警察署に逮捕、29日には起訴されております。背景には元職員の意識の低さと、現金取り扱い事務の管理不十分が最大の原因と考えております。

問私は、今回の事件の起因は、世間の常識は役所内の非常識。職員諸君の意識を変えなければ、また不祥事は繰り返すことになります。起因はここにあり市長の見解を求めます。

答（市長）起因というお話ですが、一番考えられるのは個人の資質だと思います。その個人の問題で、全て統一的にしろということとは、難しい部分もあり、いかに不正が起これにくい環境をつくるかということが、私どもの立場だと考えております。

◆天下り人事の廃止について

問市の関連施設に職員OBを優先的に受け入れることは、天下りとの市民の声があります。市職員は現役中も身分や収入は安定しているうえ、定年を迎えても関連施設の上層部に優先的に迎え入れられ、市民は、羨ましさを通り過ぎ、怒りさえ覚えています。私は、土岐市政から天下り人事を廃止すべきと提案いたします。

答豊富な行政経験を有する職員を採用したいとの趣旨から、団体からの推薦依頼されて、市からそれに基づき職員を推薦しておるというのが実態で、今後も推薦依頼があり、また職員の希望があれば推薦をしたい。

問加藤市長も一緒に考えたとしたら歴代市長とあまり変わらず、やはり市職員上がりの市長さんかなあと受け取られます。天下り人事は職員の甘さに繋がり、不正を引き起こす土壌となる悪しき習慣だと思えます。市長は廃止する考えはありますか。

答（市長）私は天下りじゃないと考えています。退職金もありません。給料もものすごく安くあります。市の経験を積んできた方がそこで要るという場合は、一般の方に無い知識が必要ですよというふうに、その団体から要請されれば、やっぱりそれは人材の活用という面から、私は薦めていきたいと考えています。

《第1回定例会一般質問》



後藤 久男

◆市道及び市有道路について

問市道の認識について。

答東日本大震災においても、救急救命活動や救急物資の搬送など、本当に大きな役割を果たし、その必要性、重要性が改めて認識させられた。

問市有道路及び団地開発道路の形状について、要綱・内規はあるのか。

答土地の所有者が土岐市であり、現況が一般交通用に供されており、土地の境界が現況に沿った形状で分筆されているもの。市有地と民地があり、市道として認定されていない道路で市有道路にも該当しないため私道となる。要綱等はないが、市道路線認定の手續きに関する要綱の中で要件がうたわれているが、将来的には、市有道路の整備についても計画的に進め、側溝施設は重要性や緊急性等を検討しながら進めていきたい。基準を満たした道路については認定していきたい。将来的には住民が使用する市道として整備するよう努力していきたい。

問市長が公約されました強いまちづくり、元気なまちづくり、優しいまちづくりのために早急に道路の整備を望みます。

答道路整備はやっぱりまちの根幹をなすものと考えている。土岐市は特に都市計画街路の整備もおくれているので、大きな道路から小さな道路まで、きちんと整備していきたい。

◆乳幼児医療費制度の助成について

問総合病院（病床200床以上）で受診をした場合、乳幼児等医療費助成者及び一般患者にも選定医療費1050円の支払いが生じるのか。

答他の病院から紹介状なしで初診した場合には、一般患者及び乳幼児・母子父子家庭福祉医療に該当者から徴収しているが、午後6時から午前8時または土日・祝日は徴収しない。

問初診時選定療養費を廃止にして、市長の公約である子育て支援を大垣市と同様高校生まで入院・通院費を全額助成してはどうか。人口比率で計算すれば約3600万円出来る。

答急性期医療、高度な専門的医療を担う当院は、地域の多くの医療機関と連携が極めて重要であり、機能分担を進めるための制度であり、医療の質の向上と効率化を図るため、また、医師の負担軽減を図るためにも廃止は考えていない。当面は市の財政と周りの市町村とのバランスを考えながら図っていきたい。



山田 正和

◆企業誘致について

問市長に就任されれば一年となりましたが、一年目の総括としてどうだったでしょうか。

答常々市長は民間が求めるスピード感にどのように対応するかが重要である。と考えており、積極的に市長が情報収集に努めているという状況です。

問プラズマ・リサーチパークC地区について今後どのような方針を考えているか。

答C地区については地域経済の活性化のため取得した経緯があります。が、なかなかうまくいっていないのが実情です。

今後はイベントの利用に限らず企業立地など検討していきたいと思えます。

問E地区について、市長就任されてから今まで企業からの入居の申し込みはありましたでしょうか。

答何件かの企業の紹介があるという情報は聞いておりますが、具体的にはなっておりません。

問成立に至らない理由というのは何でしょうか。

答最大の理由といたしましては、どういう企業を誘致すべきかという方針が不明確であったことです。また決定方法も含めましてまだ整理ができていない部分があった。

●魅力ある土地ですので、市長を中心として積極的に誘致していただいたいと思います。

特にE地区につきましては温泉を掘削して九年目となります。土岐口区民が非常に熱望しておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

◆災害対策について

問昨年九月の災害では、ある市では子どもがふたの無い側溝にすくわれ亡くなられたという事故も発生しました。土岐市内にも側溝にふたの無い箇所が多く見受けられるが何か基準はありますでしょうか。

答市のほうといたしましては危険な場所、町内会等からの要望があった場合には設置・支給させていただいております。市道以外の道路であるという事で対応させていただいております。

●まちづくりの原点は、道路の整備が最重要と考えています。市民の安心・安全のために市有道路の整備を早急にお願いたします。

《第1回定例会一般質問》



布施 素子

◆新規定住促進事業について

問24年度スタートさせるこの事業、土岐市の生産人口が減少している今、将来の対策として大変重要であり、大賛成であるが、どのような経緯で決められたのか。

答第5次総合計画、みんなの笑顔が輝くまちの基本目標で、人口維持のため市外からの転入者、特に子どもを持つ若い世代の定住を促進し、生産年齢人口と年少人口の増加を図る。問予算枠はこのままで一件の交付金額をもう少し増やして、土岐市のアピールを強力にしようか。

答公平性の問題と、ふるさと創生基金を使う為、当面3年次のような条件で続けてみてその先は考える。

条件

- ・50才以下で必ず市外からの転入者
- ・新築30万円 中学生迄の子ども一人につき5万円プラス
- ・中古住宅は15万円子どもについては新築と同じ

●土岐市にとって様々な課題、すぐや

らなければならぬことなど色々あるが、長いスパンの施策としてこの定住促進事業は重要であり、市条例化して続けるようにしたらと提案したが、当面は3年間の目標とのこと。

◆土岐市駅前広場整備基本計画策定について

問加藤市長が整備しようとする駅前広場の範囲は。今迄何回も何回も策定をしながら実現できなかった。これが最後と思うがどうか。

答JRが民営化されてから流れが変わり、駅前広場は行政がやってほしいというJRからの要請、県からも底地は県であるが、整備は市という話があり、以来市と県とJR三者協定で決っており、新土岐津線が開通すると今度は駅前広場の整備となる。

あくまでも道路事業の中で、どういう駅前広場を整備していくか、基本的な整備の考え方をまとめていきたいと思う。

●多くの市民の永年の夢と希望であり期待したい。

特に中央通り、中央小橋迄、土曜朝市をやっている辺りまでの整備をいう人が多いことや、駅前とは駅南だけではなく駅北もそうであると要求したが、当面は道路事業の範囲で、あくまで駅南の整備策定のような。必ず実現出来るよう願うのみだ。